

ProMED-mail 情報 2017年 9月版

ProMED-mail <http://www.promedmail.org/> の記事から、感染症業務関係者の皆さまにピックアップ記事を紹介します。FORTH (厚生労働省検疫所の情報提供サイト <http://www.forth.go.jp/>) に掲載されるものは省略しています。

編集：厚生労働省福岡検疫所

掲載日	表題	概要
30日	ウエストナイル熱 米国	ここ数年の脅威となっているが、特にこの秋は憂慮すべき事態。ロサンゼルスでは6人の死亡を報告。今年になって98件の感染が報告され、79件に重度の神経学的副作用があり87件が要入院。まだ蚊の発生時期であるためより多くの死亡が予想。公衆衛生当局は住民に防虫剤を使用させて窓のスクリーンを設置し、昆虫が繁殖する場所に停滞した水を処分するよう指導。
29日	エボラ出血熱 リサーチ	ウイルスが体内から排除された後も中枢神経系に残存し再発の原因となる可能性。回復したうち神経症状があった者について中枢神経系にウイルスの残存があるかを調査。165人について評価し、症状が安定しHIV等の合併のない7人の脳脊髄液を検査。治療終了後364日～459日。Rt-PCRでウイルス(遺伝子)の確認なし。退院からかなり長い時間が経過していたため、あるいはウイルスが中枢神経系に残存するも休眠状態の可能性。再発症状がある患者では脳脊髄液でウイルス検査を行うべき。
26日	クリミア・コンゴ出血熱 イラン	3月21日以降、獣医学当局はイラン国内で少なくとも120人にクリミア・コンゴ出血熱(CCHF)を確認。8人が死亡。首都テヘランで患者の報告なし。当局は許可を受けた製品(肉)を購入するよう呼びかけ。以前の報告は主に、家畜が違法に持ち込まれる東部の国境地域。2000年以降、国内で約1000例が報告。CCHFは、アフリカ、バルカン半島、中東、アジアの風土病でダニ媒介性ウイルス性疾患。死亡率は10～40%。
23日	マラリア フランス	9月7日政府当局は2例の地域内感染を報告。2017年8月の11～16日にムーラン市で行われた結婚式に参列。8月30日1例目が4日間持続する発熱・悪寒・発汗のためフランス南西部の病院に入院となり、検査で熱帯熱マラリア陽性と確認。海外への渡航歴はなし。同じ結婚式に参加した2例目はEU外の母国に帰国直後の9月1日にマラリアと診断。発症日は8月26日でマラリア発生国への渡航はなし。結婚式の出席者に疑わしい者はいなかったが、検査機関および医療機関を調べたところ、結婚式前の2週間以内にブルキナファソからの輸入マラリア症例が同市内に数日間滞在。
21日	A型肝炎 米国	16人以上が死亡している サンディエゴで公衆衛生上の非常事態が発表された数日後の9月19日、ロサンゼルス郡保健当局はA型肝炎の流行を宣言。ロサンゼルス市の感染者は10人とまだ少数。サンディエゴの流行はサンタクルーズにまで拡大し、69人が発症。現在の発生は、健康状態の悪いホームレスのコミュニティに集中。
19日	コレラ イエメン	2017年9月18日WHOは、2030年までにコレラ根絶のための戦略を開始すると発表。イエメンでは前例のない大流行を記録し、2017年4月下旬から686,783人の疑い患者と2,090人の死亡者が発生。過去1週間に40,000人の疑い患者。WHOは毎年世界で290万人の感染者と95,000人の死亡者が発生していると推測。2013年に作成したワクチンの備蓄を備え、2017年10月4日にグローバル戦略を開始する予定。死亡率を90%削減することが目的。
13日	ハンタウイルス感染症 パナマ	ロス・サントス県トノシ地区のPintaditaで新たなハンタウイルス感染が確認。62歳の女性患者は入院し、その後退院。検査でウイルス感染を確認。これによりラス・タブラス市4例アグア・ブエナ市1例、トノシ市12例の合計17例が登録。
10日	チクングニア熱 パキスタン	2017年9月8日チクングニアの検査陽性者が2,500名を超えた。保健当局者は、流行はターパーカー県シアルコート市のいくつかの村に拡大しているが、対処済みであると発表。
9日	日本脳炎 フィリピン	保健当局はハイランド地方で1月から8月までに少なくとも6例の日本脳炎を報告。バギオ市とベンゲット州で各2例、アブラ州とマウンテン州で各1名。マウンテン州の37歳教師が日本脳炎による記憶障害。日本脳炎はハイランド地方を含むいくつかの地方に常在。2015年コルディレラ自治区で13例が報告。6例が報告されたこの地域以外でも7人が感染。
7日	黄熱 ブラジル	保健省は9カ月間で250人以上が死亡した黄熱病流行の終焉を宣言。最後の罹患者は6月。合計777人が感染し261人が死亡。低リスクと考えられてワクチン接種率が低い地域で流行。大規模な予防接種キャンペーンを実施し、36,701万回以上を接種。流行に直面している地域の平均接種率は約60%で目標の95%を下回っている。
4日	ウエストナイル熱 ルーマニア	2017年5月9日～8月30日までに合計16例のウエストナイルウイルスによる髄膜炎と脳脊髄膜炎が確認され、6人が死亡。死亡例の半数がブカレスト市、他3例はブザウ市、ブライ市、オルト市で記録。保健省は大流行ではないと強調。昨年(2016年5月1日～9月29日)の感染者は80人で、そのうち8人が死亡。
2日	マラリア ブラジル	ブラジル国内でホエザルからヒトへの感染が確認。ブラジル南部及び南東部では50年前に根絶されたと考えられていたが、2006年以降リオデジャネイロ州の大西洋岸森林で1,000例以上の報告があり、2015年と2016年に2度の流行。当初は三日熱マラリアの再興と考えられていたが、DNAサンプルを分析し一部の感染がヒトのマラリア原虫によるものではなく通常はサルだけに感染するマラリア原虫感染であることが判明。